



19 皮膚のブツブツ

← : 発熱があったり、なかったりの場合
← : 発熱がある場合

問い合わせ
電話相談
#8000

皮膚のブツブツ

かゆみがある

発熱がある

かゆみがある

発熱がある

薬を飲んだ後に発疹が出てきた。

顔やくちびるが、はれぼったくなった。息苦しく、声がかすれてきた。

暗い紫色の小さな点々が、足の膝から下に出ている。鼻血があったり関節を痛がったりする。

皮膚のブツブツに、膿(うみ)や汁(しる)がある。

皮膚に小さな赤いブツブツが、いっぱい出ており、舌にイチゴのようなぶつぶつがある。

発熱4日目ごろから、皮膚のブツブツができはじめ、目やに、せきがひどく、元気がない。

もりあがったリング状の輪っかが、たくさん出てきた。

機嫌が悪く、目が赤い。くちびるも赤く、舌にイチゴのようなぶつぶつがある。

小さな水ぶくれがポチポチと出てきた。

リンゴのような赤いほっぺたになった。

薬疹かもしれません。

じんましんかもしれません。

川崎病かもしれません。

紫斑病、血液疾患かもしれません。

とびひかもしれません。

みずぼうそうかもしれません。

溶連菌感染症かもしれません。

伝染性紅班(リンゴ病)かもしれません。

はしか(麻疹)かもしれません。

救急医療機関を受診してください。

様子をみながら診療時間になるのを待って、お子さんを病院へつれて行くとよいでしょう。

ただし症状が大きく変わったら救急医療機関を受診してください。

受診のポイント
●ほかのこどもにうつす可能性があるため、受診の際には隔離が必要です。病院の受付でそのことを伝えましょう。